

大切な命

なまさ小学校

五年一組

鴉原

伸介

ぼくは、今日すごく大切なことを知った。

この話を聞いて心が大きく動いた。ぼくたちは

のことも、必死で守ってくれたことをしっ

た。地震をうらんだ。地震なんてなくはないは

いいのに！。といしゅん心の中でつぶやいた

この地震で多くの人がせな、た。そのせな

った人にも、家族はいたんだ。うにこの地

震が多くの人も泣かせ、心にうめようのない

キズをおわした。家がつぶれた、てがんだん

に言うけど、その家にも思い出がな、たんだ

るうに。地震は人じがな、いから、

がめる！。い、て言えない。多分、地震をお

じあ、た人は、見てるだけで、涙がポロポロ

目にうがんでくると思う。今ぼくが生まれてい

るのも、必死で守ってくれたお父さん、お母

さんのありがげだと思っ、すごく感謝している

ぼくの心の中、地震は、平気で人をキズっけ

るま、まだ。

実際はこの、雷災をまじあ、た人は、この  
 いやな思い出が残ってるがもし本なら。その  
 人達は、心のマルバムをまねいにすみばいい  
 と思う。心のマルバムをふりかえりページを  
 開いていくとこの思い出があるかまじれな  
 い。だけれど、今日岸本さんが言、てたように  
 周りには人がいる、その人とい、しよに、大  
 きなカベをのりこえ本ばいいと思う。地雨最で  
 心がブルいにな、た人がいると思う、だけれど  
 周りに人は人がいる。その人とい、しよにブル  
 ーの心を明るくオしこごにすみばいいと思っ  
 こみながらはブルいな心の人もなぐさめて、オ  
 しこご、明るくいびにしていきたくです。